学校番号	1101

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新　数学Ｂ　（数研出版）						
副教材等	新課程　パラレルノート数学Ｂ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識・技能】

数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力・判断力・表現力等】

離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。

【学びに向かう力・人間性等】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。	数数列，統計的な推測における数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数列	数列とその和 1 数列とその和 2 等差数列 3 等差数列の和 4 等比数列 5 等比数列の和 6 和の記号Σ 7 自然数の2乗の和 8 いろいろな数列の和 9 階差数列	a: 等差数列，等比数列や他のいろいろな数列について理解し，それらの一般項や和を求めることができる。 b: 事象から離散的な変化を見いだし，それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 c: 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	振り返りｼｰﾄ

		漸化式と数学的帰納法 10 漸化式と一般項 11 数学的帰納法	a: 漸化式について理解し，事象の変化を漸化式で表したり，簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 数学的帰納法について理解することができる。 b: 事象の再帰的な関係に着目し，その規則性を数学的に表現し考察することがきる。 c: 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	振り返りシート
後期	統計的な推測	確率分布 1 確率変数と確率分布 2 確率変数の期待値 3 分散と標準偏差 4 二項分布 5 二項分布と期待値，分散，標準偏差 6 連続型確率変数 7 正規分布 8 二項定理の正規分布による近似	a: 確率変数と確率分布について理解することができる。 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解し，正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解することができる。 b: 確率分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察することができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ	
		統計的な推測 9 母集団と標本 10 標本平均の分布 11 母平均の推定 12 母比率の推定 13 仮説検定	a: 標本調査の考え方について理解を深められている。 b: 目的に応じて標本調査を設計し，収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理することができる。 c: 収集したデータの特徴や傾向を推測し判断するとともに，標本調査の方法や結果を批判的に考察しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度